

第2学年4組社会科（歴史的分野）学習指導案

平成30年1月24日（水）第5校時
男子19名 女子19名 計38名
授業者 さいたま市立大宮東中学校 水田侑希

1. 単元名 欧米の進出と日本の開国

2. 小単元 近代革命の時代

3. 単元について

(1) 教材観

本単元は19世紀ごろから20世紀前半までの歴史を扱い、我が国の近代の特色を、世界の動きとの関連に着目して学習させる。この単元のねらいは欧米諸国における市民改革や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させることとしている。

本単元は、我が国が、欧米諸国のアジア進出など複雑な国際情勢の中で開国し、急速な近代化を進めて近代国家の仕組みを整え、その後常にアジア諸国や欧米諸国との密接なかかわりをもってきた時期の内容であり、我が国の歴史の大きな流れを理解するためにもとても大切な単元である。

そこで本単元では、導入部で、歴史の大きな流れを理解するため、理解するべき学習を焦点化する。また、既習事項を有効に活用しながら、本単元を貫く課題の設定を行い、近代民主政治への動きが生まれてきたこと等、気付かせていく。

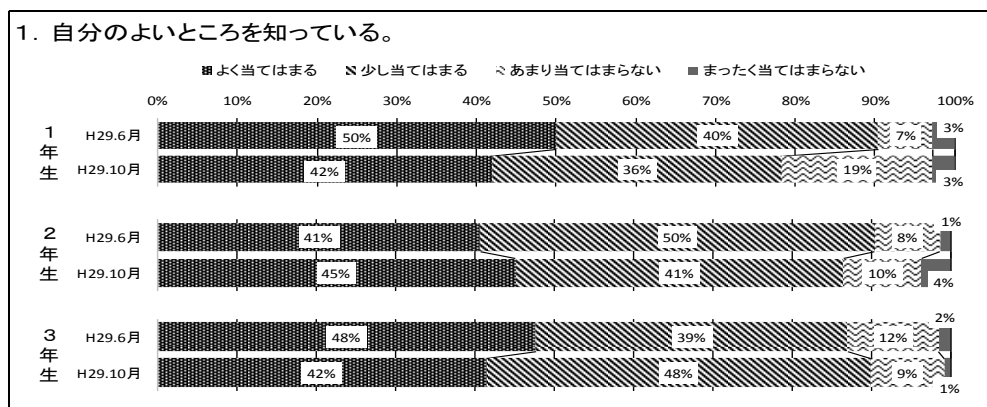
(2) 生徒観

本学級の生徒は、集中して授業に取り組み、教師の発問にも積極的に返答をする生徒が多く、学級全体としても意欲的に取り組んでいる。一方で、自分の考えをまとめたり、まとめた考えを発表したりすることがあまり得意でない生徒が一部いる。そこで、毎時間の授業では、教師からの一方的な授業にならないよう、また言語活動を充実させることを目的にして、ワークシートへのまとめ学習を多く取り入れてきた。その結果、授業中の発問に対しても、ある程度話す内容をまとめてから発表できる生徒が多くなってきた。その一方で、自分の言葉でまとめることに苦手意識をもっている生徒は少なくない。

本単元でも、自分の考えを自分の言葉で表現することができるように、発表できる機会を多く与えていきたい。

6月と10月に行った学校独自の人権アンケートの結果（資料1）から、1回目の調査で自己肯定感が課題であることを認識した上で、取り組んできたにも関わらず、2回目の結果でもよい変容が見られなかったことが分かっている。このことから、様々な場面で発言する機会を多く与え、さらに成功体験を積み重ね、認めて褒める指導をこれまで以上に意図的計画的に行い、生徒の自己肯定感を高める必要があると感じている。

資料1



(3) 指導観

本単元においては、近代民主政治への動きが生まれてきたことに気付かせるため、具体的で興味をもてる資料を用意する。それらに基づいた発問を行う。具体的で興味をもてる資料を準備すること、それらの資料を読み取らせる時間をきちんと設けることで、生徒の思考力を向上させたい。また、生徒の自らの考えを発表する機会を多くつくり、それを認め、成功体験を積ませる。

4. 学校研究主題「お互いを理解し、自他尊重の精神をもつ生徒の育成」との関連

本時は、フランス革命前後の課題の一つとして当時の身分制度を取り上げる。当時の人々の革命前後の感情を読み取らせることで、共感的理解を深めたい。また、フランス革命の中で発表された人権宣言について、当時の人々が何を求めていたのかを読み取らせ、生徒一人ひとりが自他尊重の精神をもち、すべての人々に認められる「自由」について考えられるよう指導していく。

5. 指導計画

(1) 単元の指導計画と評価

①単元の目標

- ・ 開国の影響から江戸幕府滅亡までの過程について関心を高め、意欲的に追及している。 (関心)
- ・ 開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。 (思考)
- ・ 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、追求し考察した過程や結果をまとめている。 (技能)
- ・ 欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解させる。 (知識)

②評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
欧米諸国のアジア進出や我が国の開国とその影響に対する関心を高め、意欲的に追及している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に関するグラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	欧米諸国のアジアへの進出を背景に、我が国の開国とその影響を理解し、その知識を身に付けている。

③指導計画 (8時間扱い)

時間	単元	指導上の観点	評価の観点
1 本時	近代革命の時代① フランス人権宣言	フランス革命における、人々の感情を読み取り、どのような行動に繋がっていくかを考察させる。	知 フランス人権宣言を読み取り、当時の人々が求めた「自由・平等」について理解している。 思 フランス革命前後における、社会構造の変化を読み取り、資料に基づいて、人々の生活を考察している。
2	近代革命の時代	欧米諸国が、近代革命を通して近代国家を形成していった過程を理解させる。	知 欧米諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し、その知識を身に付けている。 関 欧米諸国の近代革命の様子に興味を持ち、意欲的に追及している。
3	産業革命と19世紀のヨーロッパ	グループ活動で、変化の過程を予想し、発表し合うことを通して、産業革命を経て、産業と社会の仕組みが大きく変化したことを理解させる。	思 産業革命を経て、産業や社会の仕組みが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 知 革命の時代を経て近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解し、その知識を身に付けている。

4	ロシアとアメリカの発展	ロシア・アメリカ合衆国が発展する過程で抱えていた様々な問題を資料などから読み取り、考えを深めさせる。	<p>思ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で問題があったことを多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>知ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解し、その知識を理解している。</p>
5	ヨーロッパのアジア侵略	当時の世界地図などを用いて、ヨーロッパのアジア侵略とそれに対するアジア諸国の動きを多面的・多角的に考えさせる。	<p>思ヨーロッパ諸国やアジア侵略について、その理由を考察し表現している。</p> <p>技アジア侵略に対するアジア諸国の対応をグラフや地図から読み取り、まとめる。</p>
6	開国と不平等条約	年表から、ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ、条約の内容を理解させる。	<p>思ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ、適切に表現している。</p> <p>知条約の内容や不平等な点を理解し、その知識を身に付けている。</p>
7	尊王攘夷運動と開国の影響	様々な資料を用いて、対外政策を転換したことや、開国したことによる国内への影響について、資料を使って考えさせる。	<p>知開国の経済的影響を人々の生活との関わりから理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>思尊王攘夷運動の高まりや開国の影響を調べ、開国によって日本が資本主義社会へ組み込まれていったことを考察し、適切に表現している。</p>
8	江戸幕府の滅亡	当時の資料を読み取る活動をと通して、開国による政治的・社会的な影響に触れ、それが倒幕の動きを生み出したことに気付かせる。	<p>技開国の影響とその後の幕府政治の推移について、資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。</p> <p>思開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・社会面から考察し、公正に判断し表現している。</p>

6. 人権教育上のねらい（人間関係づくり）

- ・お互いを肯定的に理解し、自他尊重の精神を養う。
- ・身の周りの権利の大切さを知り、人間関係づくりの基礎を身に付ける。

7. 人権教育上の視点

- ・自他を肯定的に捕え、尊重し合うことによって、お互いの自分らしさが認め合えるようにする。

(技能)

- ・権利を守ることの大切さについて理解を深めさせる。

(知識)

8. 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・フランス革命前後における、社会構造の変化を読み取り、資料に基づいて、人々の生活を考察させる。
- ・フランス人権宣言を読み取り、当時の人々が求めた「自由・平等」について理解させる。

(2) 本時の展開

過程	○学習活動 ・学習内容	・指導上の留意点 ◆評価規準 ◎人権教育上の配慮	資料
導入	<p>○写真や文章をみて、当時のフランスの状況を把握する。</p> <p>・当時のフランスは国王が権力を握っており、議会を開かずに国を治めていた。</p>	<p>・本時の学習に関心を持たせる。</p> <p>・当時のフランスは国王が政治の権力を全てにぎり、議会を開かずに国を治めていたということを説明する。</p>	<p>資料</p> <p>パワーポイント 「ベルサイユ宮殿と市民の生活を表したもの」</p>
本時の展開	<div data-bbox="220 472 1270 600" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習目標：フランス革命前後における、社会構造の変化を読み取り、当時の人々が求めた自由・平等について理解しよう。</p> </div> <div data-bbox="213 622 1260 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①国王が支配をしていた時代の問題点や当時の人々の気持ちを考えよう。</p> </div> <p>○当時のフランスにおける、貴族の生活と民衆の生活について、比較し、考える。</p> <p>〈貴族の生活〉 王族を中心に贅沢な暮らしをしていた。毎晩食べきれないほどの食事が並び、大量の残飯が出ていた。さらに、税金も免除されていた。</p> <p>〈民衆の生活〉 凶作、重税、物価の上昇に苦しみ、ひたすら主食であり、貴重な栄養源とされていたパンを求めている。</p> <p>○第三身分の人々はどんな気持ちだっただろう。</p> <p>《グループ活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい生活が続き、辛い ・これが普通 ・王を倒す ・国から逃亡する ・他の国と協力する ・大勢で立ち向かう <p>○発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で意見を共有する。 <p>○フランス革命を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス革命（1789年） フランスで起きた市民革命。身分の特権の廃止、人間の自由と平等、国民主権、言論の自由などを唱えた。 	<p>・当時のフランスが絶対王政であり、身分の違いがあったことを理解させた上で、第三身分の市民には今では当たり前にも認められている人権がなかったことに気付かせる。</p> <p>・当時の社会構造の図を見せる。</p> <p>・食費、給料、税金など、具体的な数字による資料を用意し、比較させる。</p> <p>＜グループ活動の注意点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人班で行う。 ・司会、記録、発表を指定する。 ・1人1つの発言をする。 ・最後の3分で、自分以外の2人の意見についてよい所を伝える。 ・記録の生徒はホワイトボードに簡潔に班の意見をまとめる。 <p>◎お互いの考えのよさを認め合う活動で生徒同士が考えた意見を言葉で伝え合うことを通して、生徒同士がお互いの意見を尊重し合い、共感的理解を深めさせる。</p> <p>・この時点では人権宣言までは解説しない。</p> <div data-bbox="657 1711 1318 1939" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>◆【社会的な思考・判断・表現】</p> <p>フランス革命前後における、社会構造の変化を読み取り、資料に基づいて、人々の生活を考察している。</p> </div>	<p>パワーポイント 「当時の社会構図」 「給料や税金などの具体的な数字」</p> <p>風刺画</p> <p>パワーポイント 風刺画</p>

	<p>②フランス革命後の社会の様子を知り、人々が手にした自由・平等を知ろう。</p> <p>○革命後の社会の様子を理解する。 〈社会の様子〉 国王を廃位した上処刑し、共和制が始まる。</p> <p>○人権宣言を読み、当時の人々が革命後に行ったことを読み取る。 〈求めた人権〉 自由と平等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「うれしい」など、喜びの感情を引き出す。 ・「フランス革命＝市民革命」と呼ばれていることに触れ、当時の市民は現在とは違い、商工業者の富裕層のことを指すという解説をする。 ・「人権宣言」のタイトルは隠した状態で、文章を読ませる。 ・人権宣言を読ませることで生徒の意見と当時の人々の考えが似ていることに気付かせる。 ・フランス人権宣言の内容から、当時の人々が求めた“人権”に気付かせる。 ・フランス人権宣言が今後（20世紀）の一般の人々（大衆）の人権（自由、平等）に繋がっていくことを説明する。 ・日本国憲法の中身に触れ、フランス人権宣言が日本国憲法に影響を及ぼしていることに気付かせる。 <p>◎人権宣言の内容を読み取る作業を通して、当時の人々がすべての市民に認められる自由・平等について考えていたことに気付かせるとともに、自分たちの今の生活につながっていることを理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◆【社会的事象についての知識・理解】 フランス人権宣言を読み取り、当時の人々が求めた「自由・平等」について理解している。</p> </div>	<p>パワーポイント 「人権宣言」</p>
<p>まとめ</p>	<p>○本時の学習を振り返り、授業の感想をワークシートにまとめる。</p> <p>○感想を発表する。</p>	<p>・ワークシートに授業の感想を書かせ、本時のねらいがつかめているか確認する。</p>	

(3) 板書計画

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土
江戸
明治
大正
昭和
平成

近代革命の時代

学習目標： フランス革命前後における、社会構造の変化を読み取り、当時の人々が求めた自由・平等について理解しよう。

<フランスの絶対王政>

象徴的建造物：ベルサイユ宮殿（ルイ14世）

● 免税
● 年金受領
● 管職独占
● 大地主 (全国の土地の40%を所有)

● 参政権なし
● 納税義務

● 1615～1789年まで三部会(身分制議会)は開かれず。

<フランス革命>

バスチーユ監獄の襲撃（パリ）⇒革命の広がり
→絶対王政の象徴的存在

人権宣言・・・自由、平等、言論の自由など
→近代の人権確立の基礎

ルイ16世の処刑 ⇒ 共和制へ

まとめ

近代革命の時代

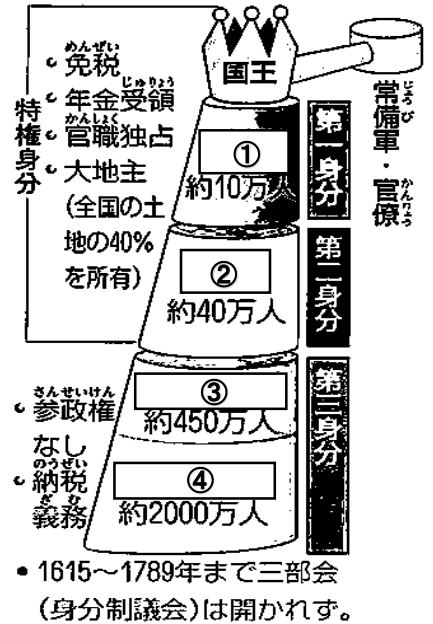
____年 ____組 ____番 氏名 _____

学習目標：フランス革命前後における、社会構造の変化を読み取り、当時の人々が求めた自由・平等について理解しよう。

◎当時のフランスにおける、貴族・市民の生活を資料から読み取ってみよう。

貴族	市民

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____



◎第三身分の人々はどんな気持ちだったろう。

<p>自分の意見</p>
<p>グループ内の意見</p>
<p>クラスの意見</p>

<フランス革命>

_____の襲撃（パリ） ⇒
→絶対王政の象徴的存在

革命の最中、第三身分の議員たちが次のような文章を発表した。

『

』

第1条 人は、生まれながらにして、自由かつ平等な権利をもっている。

第3条 あらゆる主権の原理は、本来、国民の中にある。いかなる団体や個人も国民に由来しない権力を行使することは出来ない。

第11条 思想および、意見の伝達は、人間のもっとも貴重な権利の一つである。すべての市民は自由に語り、書き、印刷することができる。

（「西洋資料編成」）

◎上の文章を読み、当時の人々が革命の中で求めたものは何かを読み取ってみよう。

○今日の授業の感想を書いてみよう。